

訓練実施結果概要報告書

訓練名	平成 25 年度習志野市総合防災訓練
目的	<p>【地域住民】 発災直後から数時間の一連の自助・共助の活動の流れについて手順を確認し習熟を図る。</p> <p>【市職員・学校職員】 新たな体制である地区対策支部の設置や避難所の開設について習熟を図る。</p>
日時	平成 25 年 9 月 1 日（日） 午前 9 時 00 分から 12 時 00 分
会場	<p>1 初動対応訓練 市内全域</p> <p>2 地区対策支部設置訓練 市内全小学校（16校）</p> <p>3 避難所開設訓練 市内全小中学校体育館</p> <p>（※向山小体育館・第一中体育館・袖ヶ浦体育館・東部体育館・習志野高校は避難所開設は無し）</p>
実施項目	<p>1 初動対応訓練【9時00分～】</p> <p>【地域住民】</p> <p>ア シェイクアウト訓練</p> <p>イ 地震火災の予防「火元の確認」「ブレーカーの確認」</p> <p>ウ 各町会や自主防災組織を中心とした共助の活動</p> <p>【市職員】</p> <p>ア シェイクアウト訓練</p> <p>イ 参集訓練</p> <p>2 地区対策支部設置訓練【10時30分ごろ～】</p> <p>3 避難所開設訓練【10時30分ごろ～】</p>
訓練参加者	<p>(1) 市内地域住民</p> <p>(2) 市職員 地区対策支部職員・避難所配備職員・災害対策本部員 災害対策本部事務局員・消防職員・企業局</p> <p>(3) 学校職員</p> <p>(4) その他関係機関 習志野警察署 東京電力 習志野市医師会・歯科医師会・薬剤師会</p>
訓練参加者数	<p>避難者数 約 3,800名（詳細は別紙「一覧表」参照）</p> <p>市職員等 約 200名</p> <p>合計約 4,000名</p>

<p>主な 課題等</p>	<p>1 避難所関係</p> <p>(1) 避難所で使う物品や様式の見直しについて 避難所に関するいくつかの様式や物品について、訓練を通して明らかとなった課題を踏まえて改善する。</p> <p>(2) 地域住民が主体となった開設・運営について 地域住民が主導して開設・運営を行った避難所と、そうでない避難所がある。避難所配備職員の3名と学校職員数名だけで避難所を開設することはできないため、地域住民との連携を深める必要がある。</p> <p>2 地区対策支部関係</p> <p>(1) 災害対策本部との情報連絡方法について 1回線だけしかない防災無線をうまく活用するため、報告すべき情報の優先度をあらかじめ決めておく必要がある。(火災を最優先に報告するなど) また、地区対策支部である程度集約してから、災害対策本部へ報告する必要もある。</p> <p>(2) 避難所との情報連絡方法について 避難所配備職員はその場を離れることが難しいため、地区対策支部へ情報伝達に行くことが難しい。逆に、支部職員が避難所に情報をとりに行く体制を検討する。</p> <p>3 災害対策本部事務局関係</p> <p>(1) 収集した被害情報等の整理方法・整理の流れについて 被害情報が多くなるにつれ、情報が錯そうし混乱していた。無線で情報を受け取った後、どのように情報を整理していくかを、再検討する。</p> <p>(2) 関係部署・関係機関との連携について 市の関係部署や、警察・消防・千葉県などの関係機関との連携を訓練するための、災害対策本部運営訓練が必要となる。</p>
<p>今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を通して明らかとなった多くの課題の改善 ・訓練参加者に対し、訓練成果や改善点等をフィードバック